**注）本頁は、申請書の表紙（１頁目）です。**

様式１

（リサイクル事業）

**２社以上の連名で申請する場合は、本頁を各社ごとに作成ください。**

**注）本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

秘

　　　　　　資源循環技術・システム表彰申請書（奨励賞）

注）奨励賞にご応募の場合にのみ付記してください。↑

平成　　年 月 日

一般社団法人産業環境管理協会　御中

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）  ①会社名又は事業所名 | （印） | | | | | | |
| ②〒、所在地、電話番号 |  | | | | | | |
| （ふりがな）  ③代表者　役職、氏名 | （印） | | | | | | |
| ④資本金又は基本財産 | 百万円 | ⑤従業員数 | | 人 | ⑥出荷額 | | 百万円／年 |
| （ふりがな）  ⑦連絡者　所属部署、役職、  氏名、住所、電話番号、  FAX番号、〒、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | 電 話  　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ  　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail  〒、住所*（②の〒所在地と同じ場合は省略可）* | | | | | | |
| ⑧申請テーマ名（ふりがな）  *（申請内容を端的に表現する*  *テーマ名を付けてください）* |  | | | | | | |
| ⑨リサイクル対象廃棄物名 |  | | ⑩リサイクル対象  　廃棄物の取扱量 | | | ｔ／年 | |
| ⑪リサイクル品名*（商品名で*  *はなく一般名とすること）* |  | | ⑫リサイクル製品の  生産量 | | | ｔ／年 | |
| ⑬リサイクル製品の販売量 | ｔ／年 | | ⑭リサイクル製品の  　販売額（自社利用  　の場合は評価額） | | | 万円／年 | |
| ⑮リサイクル事業の開始年月 |  | | ⑯リサイクル事業の  継続年数 | | |  | |
| ⑰本制度に係る過去の表彰  　実績*（受賞年度、賞の種類*） |  | | ⑱他の制度による  過去の表彰実績  （*名称、受賞年度，*  *賞の種類）* | | |  | |
| ⑲所属団体名 |  | | ⑳本表彰の募集を何  　で知りましたか  *（具体的に）* | | |  | |
| 申請内容、関連事項の公表実績*（ホームページ名称・URL、出版物名等）* |  | | | | | | |

**注）本頁は、本文（２頁目以降）の記述要領の説明です。**

**以下の項目について、申請テーマの事業内容とその特徴を記述ください。**

**該当なしの場合は、「該当なし」と記述ください。**

**また、追加項目があれば、追加ください。**

**注）本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

**本文の構成**

１．要旨

２．廃棄物について

注）廃棄物の名称、どこから出る廃棄物か、廃棄物の数量、形態、特徴等（図絵等を用いて記述）

３．リサイクル事業実施以前の処理方法

従来一般的に採用されている処理・処分・リサイクル方法等（図絵等を用いて記述）

４．リサイクル事業の実施内容（２社以上の連名の場合は、各社の役割分担が判るように記述）

(1) リサイクル工程の説明

注）フローシート、図絵等を用いて記述

　(2) リサイクル製品の生産量、販売量、販売額等の推移（平成２６～３０年）

　(3) 技術・システムのポイント、新規性、改善点、同種事業との相違点

注）図絵等を用いて記述　**⇒**　**重要**

　(4) 特許等の有無

　(5) 保有設備の性能等

　(6) リサイクル事業のコスト計算（原料廃棄物の輸送費、副資材費、動力燃料費、減価償却費、設備保全費、人件費、その他）

５．リサイクル事業実施による効果

　(1) 廃棄物の減量効果

　(2) 省資源・省エネルギー効果

　(3) 環境保全効果、ＣＯ2削減効果

　(4) 経済効果

　(5) 波及効果

　(6) その他の効果

６．リサイクル製品の市場性

　(1) リサイクル製品の特長、形状、品質、安全性・無害性等

　(2) バージン原料製品との比較

　(3) リサイクル製品の販売方法

７．原料廃棄物の安定確保策

　(1) 原料廃棄物の安定確保策

(2) 廃棄物の引取条件

８．二次公害防止のための対策

　(1) 二次廃棄物の発生・処理・処分状況

　(2) 二次公害防止のための対策

９．リサイクル事業の動向

　(1) 事業運営上の問題点と対応策

(2) 将来構想